

# 事業報告等-決算-

## (2018 年度)

1. (前年度) 事業報告
2. 貸借対照表
3. 正味財産増減計算書
4. 財産目録
5. 収支計算書

公益社団法人食品容器環境美化協会

## 2017年度事業報告

### 1 はじめに

当協会は、本年度、協議会として発足して45年目、法人化して36年目、公益社団法人として再発足して7年目を迎え、これまで積み上げられてきた事業実績を踏まえつつ、第5期中期計画の最終年度として、協会の設立目的を達成すべく諸事業を展開した。

#### (1) 会 員

会員は、2018年3月31日現在、コカ・コーラ協会、一般社団法人全国清涼飲料連合会、一般社団法人全国トマト工業会、一般社団法人日本果汁協会、日本コーヒー飲料協会、ビール酒造組合の6団体である。(別紙1のとおり)

#### (2) 役 員

役員は、2018年3月31日現在、理事9名（うち会長1名、専務理事1名）及び監事2名で、次のとおりである。(理事、監事それぞれ50音順、敬称略)

会長	東 隆	一般社団法人全国清涼飲料連合会
理事	青木庸三	コカ・コーラ協会
理事	川村和彦	一般社団法人日本果汁協会
理事	滝本修司	ビール酒造組合
理事	堤 隆	一般社団法人全国トマト工業会
理事	中田雅史	一般社団法人全国清涼飲料連合会
理事	花澤達夫	一般財団法人食品産業センター
理事（専務）	日尾野興一	
理事	松村孝史	日本コーヒー飲料協会
監事	兼子 清	一般社団法人日本果汁協会
監事	高橋尚人	一般社団法人全国トマト工業会

#### (3) 顧問

顧問は、2018年3月31日現在、次のとおりである。

顧問	荒川和夫
顧問	平本忠晴

## 2 各事業の執行状況報告

2017年度においては、引き続き、アダプト・プログラムの普及推進、環境美化実践教育支援、その他各種まち美化啓発活動を展開する等により、地方連絡会議の活動強化を図りつつ、各般にわたる飲料容器の散乱防止対策を推進した。

各事業の執行状況は、次のとおりである。

### (1) アダプト・プログラムの普及推進

アダプト・プログラムは行政と市民のパートナーシップで進める継続的なまち美化プログラムで、合理的な散乱防止対策である。このアダプト・プログラムの一層の普及・定着を図り、あわせて飲料業界がアダプト・プログラムの普及推進に努めていることを一般に浸透した。

#### 情報センターとしての機能強化

自治体の具体的な困りごと等についてデータベース化を図るため、アダプト・プログラムのQ&Aをホームページに掲載した。

双方向での情報交換が可能な情報手段として Facebook(フェイスブック)ページを活用し、アダプト・プログラムに関する情報提供を行った。

学識経験者、自治体実務担当者等とワークショップを開催する等により、これらの運用の高度化、活発化、効率化を図り情報センターとしての機能強化を図るための検討を行った。

#### アダプト・プログラム助成制度の充実

アダプト・プログラム活動団体を支援し、アダプト・プログラムの一層の奨励とその普及を図るため、「アダプト・プログラム助成制度」を引き続き実施した。

今年度も昨年同様10万円コース、5万円コースの2コースとした。

全国から10万円コース：97団体、5万円コース：136団体、総数233団体の応募があり、審査委員会で審査の上、10万円コース：31団体、5万円コース：37団体、総数68団体に助成を行った。(別紙2 助成実施団体一覧)

## 地域における普及活動の強化

### ① 地方のアダプト・プログラム教室等への講師派遣等

本年度は、以下の会議に出席し、アダプト・プログラムの説明や当協会の事業を紹介した。

2月10日 2017年度アダプトフォーラム in ひろしま

### ② 地方環境イベントへの参画等

7月に札幌市で開催された「環境広場さっぽろ」、8月に金沢市で開催された「いしかわ環境フェア」、10月に秋田市で開催された「あきたエコ&リサイクルフェスティバル」、富山市「とやま環境フェア」、宜野湾市「3R推進全国大会」12月の京都市「京都環境フェスティバル」に参画・出展により、アダプト・プログラムの紹介・普及に努めた。(別紙3 各地のイベント出展)

また、関係自治体等と、アダプト・プログラムの紹介、情報交換を行った。

さらに、特色あるアダプト活動を行っている帯広市「クリーン・キャンバス・21」及び伊豆市「修善寺大掃除」を訪問取材し、アダプト活動団体の様子をホームページ等に掲載した。

## 普及概況

本年度末で導入地方自治体数は423であり、地方自治体アンケート調査、地方自治体ホームページ等からの集計によれば参加団体約43,000団体、参加人員約255万人以上となっている。

各地の導入後の状況を調べると、本プログラムは着実に定着しつつあり、アダプト・プログラムがわが国の環境美化活動の一つの大きな流れとなっていると判断される。

## (2) 環境美化実践教育支援

社会の持続可能性を高めるという観点から、次世代に向けた環境教育に取り組む姿勢が社会全般に一層高まっていることを背景に、環境美化教育優良校等表彰事業を引き続き実施するとともに、環境美化・リサイクル推進に関する有効な情報を教育現場に提供した。このような教育支援の事業を通じて飲料業界の容器散乱防止に対する積極的な姿勢を広く一般にアピールした。

## 第18回環境美化教育優良校等の表彰

公共の場所における環境美化や飲料空き容器等のリサイクルについて、実践的な教育を行い、地域の環境美化にも大きく寄与している小中学校等を対象と

した環境美化教育優良校等表彰事業を、文部科学省、農林水産省、環境省の後援を得て実施した。

本年度は、各地方連絡会議を通して、全国37の都道府県からの推薦に基づき、審査委員会での審査選考の結果、最優秀校4校、優秀校6校、優良校27校を決定し表彰した。(別紙4 表彰校一覧)

最優秀校については、1月26日に浅草ビューホテルにおいて表彰伝達式を実施した。優秀校・優良校については、各地域で地方連絡会議より表彰状等の伝達を行った。

これらについてはホームページを通じて紹介をした。

各地での表彰伝達については、全国新聞地域版4紙、地方新聞46紙、業界及び教育関係紙20紙、テレビ1局、インターネットWEBサイト76サイトで報道された。

#### 環境学習ノウハウの情報収集及び情報発信

- ① 第18回環境美化教育優良校等表彰事業による表彰校の環境美化の活動が広く知られ全国的な展開につながるよう、表彰校の活動内容を詳細に調査し、ホームページに掲載した。
- ② 環境美化教育のあり方について教育関係者と意見交換を行った。
- ③ 本会が小学校教員向けに編集した「資源になる！ごみから考える環境学習ガイドブック」について、全国小学校社会科研究協議会場などを活用して、関係者に配布した。

また、インターネット上の学習教材「まち美化キッズ」を引き続きホームページ上に提供し、前年度に続き安定的な多くのアクセスを得た。

### (3) 散乱防止の啓発

飲料メーカー等の協力の下、統一美化マークを自動販売機等に貼付していただくことを通じて散乱防止の呼びかけを行うとともに地方連絡会議とも連携して、各種キャンペーン実施等により飲料空き容器のポイ捨て防止、散乱防止啓発活動を全国的に展開した。

#### 主要啓発活動

- ① 地方自治体の「ごみ減量化・環境美化推進協議会」等への参画・連携  
地方自治体等の散乱防止啓発活動(美化キャンペーン等)に協賛・協力し、その一環として、キャンペーン用資材(ポケットティッシュ、ボールペン、トートバック、ハンドタオル、持ち帰り袋等)の配布を行った。  
また、北海道及び埼玉県の環境ポスターコンクールに協賛・協力した。

- ② 地方自治体が主催する環境フェア等イベントへの参加・出展（再掲）  
「環境広場さっぽろ」、「いしかわ環境フェア」、「あきたエコ&リサイクルフェスティバル」、「とやま環境フェア」、「3R推進全国大会」、「京都環境フェスティバル」に出展し食環協事業、地域のアダプト・プログラム普及状況の説明及び関連パンフレット、グッズの配布を行った。

#### （４）広報活動及び情報収集・提供の充実

改定したホームページにより、情報発信を行った。  
食環協ニュースにより引き続きアダプト・プログラム活動及び環境美化教育の表彰校を紹介するとともに、各地のイベントへの参画、表彰活動等を、地方連絡会議の協力のもとで、ホームページにトピックス方式で随時掲載した。  
また、フェイスブックページにより、当協会の活動に関する情報をより広範な人々に提供すべく努めた。

#### （５）地方連絡会議

地方連絡会議のブロック会議（４か所）を開催するとともに連絡体制を整備し、地方連絡会議の体制維持、諸活動の推進を図った。  
また、地方連絡会議の方々には環境美化教育優良校等表彰事業の優良校について地域地域において表彰状の授与を行っていただいた。  
これらの様子はホームページに掲載した。（別紙５ 地方ブロック会議一覧）

### 3 管理運営事項の報告

#### （１）理事会及び総会

理事会

2017年

○5月11日（定款32条の規定により決議があったとみなされた日）

議題

第1号議案

2016年度事業報告、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録の承認に関する件及びこれらを2017年度通常総会へ提出する件

第2号議案

「2017年度の会費の額及び徴収方法について（案）」を2017年度通常総会に提出する件

第3号議案

特別広報・調査実施要領の改訂について

第4号議案

常勤役員の勤務期間等に関する規程について

第5号議案

業務執行状況について

○8月22日（定款32条の規定により決議があったとみなされた日）  
議題

第1号議案

9月15日に臨時総会を開催すること

第2号議案

「理事（非常勤）の選任について」を臨時総会に提出する件

○10月25日（第1回理事会）

場所 メルパルク東京

議題

第1号議案

業務執行状況の報告について

その他

2018年

○3月27日（第2回理事会）

場所 メルパルク東京

議題

第1号議案

第6期中期計画について

第2号議案

2018年事業計画、収支予算及び「資金調達及び設備投資の見込み」の承認に関する件

第3号議案

特別広報・調査実施要領に関する件

第4号議案

2018年通常総会の招集に関する件

第5号議案

業務執行状況について（報告）

総会

2017年

○5月29日（2017年度通常総会）

場所 メルパルク東京

議題

第1号議案

2016年度事業報告に関する件

第2号議案

2016年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認にする件

第3号議案

2017年度の会費の額及び徴収方法の決定に関する件

第4号議案

特別広報・調査実施要領の改訂について

第5号議案

常勤役員の勤務期間等に関する規程について（報告）

第6号議案

業務執行状況について

○8月15日（定款第28条の規定により決議があったとみなされた日）  
議案

理事（非常勤）の選任について

**(2) 運営委員会及び企画委員会**

**運営委員会**

2017年

○4月26日

- ・総会提出議案について
- ・中期計画の検討

○7月27日

- ・業務執行状況について
- ・中期計画の検討
- ・その他

○10月25日

- ・国家公務員の人事院勧告について
- ・中期計画の検討
- ・その他

2018年

○1月23日

- ・業務執行状況について
- ・中期計画の検討
- ・その他

○3月13日

- ・業務執行状況について
- ・理事会提出議案について



企画委員会

2017年

○4月26日

- ・2016年度事業報告及び決算等について
- ・第18回環境美化教育優良校等表彰事業の日程及び推薦依頼について
- ・その他

○5月25日

- ・第18回環境美化教育優良校等表彰事業について
- ・2017年度地方連絡会議構成員名簿の更新について
- ・2017年度ブロック会議について
- ・中期計画について
- ・その他

○6月22日

- ・第18回環境美化教育優良校等表彰事業の進捗について
- ・2017年度ブロック会議について
- ・中期計画について
- ・その他

○7月28日

- ・2017年度ブロック会議について
- ・アダプト・プログラム関係事業の状況について
- ・中期計画について
- ・その他

○9月28日

- ・第18回環境美化教育優良校等表彰事業の進捗について
- ・アダプト・プログラム関係事業の状況について
- ・中期計画について
- ・その他

○10月25日

- ・第18回環境美化教育優良校等表彰事業の進捗について
- ・アダプト・プログラム関係事業の状況について
- ・中期計画について
- ・その他

○11月30日

- ・第18回環境美化教育優良校等表彰事業の進捗について
- ・アダプト・プログラム関係事業の状況について
- ・中期計画について
- ・その他

2018年

○1月25日

- ・第18回環境美化教育優良校等表彰事業の進捗について

- ・アダプト関係事業の状況について
- ・第6期中期計画について
- ・その他

○2月22日

- ・第18回環境美化教育優良校等表彰事業 表彰式の実施報告
- ・アダプト関係事業の状況について
- ・第6期中期計画及び2018年度事業計画について
- ・その他

○3月22日

- ・第18回環境美化教育優良校等表彰事業の結果について
- ・アダプト関係事業の状況について
- ・第6期中期計画及び2018年度事業計画について
- ・その他

別紙 1

会員団体(2018.3.31現在)

(敬称略)

会 員 名	代 表 者	住 所
<p>コカ・コーラ協会</p>	<p>会 長 佐々木康行</p>	<p>〒106-0032 東京都港区六本木6-2-31 六本木ヒルズノースタワー3階 電話 03(5410)4521</p>
<p>一般社団法人 全国清涼飲料連合会</p>	<p>会 長 小郷 三朗</p>	<p>〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-9-2 PMO神田岩本町2階 電話 03(6260)9260</p>
<p>一般社団法人 全国トマト工業会</p>	<p>会 長 寺田 直行</p>	<p>〒103-0001 東京都中央区 日本橋小伝馬町15-18 ユニゾ小伝馬町ビル3階 電話 03(3639)9666</p>
<p>一般社団法人 日本果汁協会</p>	<p>会長理事 川上 博志</p>	<p>〒105-0012 東京都港区芝大門1-10-1 全国たばこビル3階 電話 03(3435)0731</p>
<p>日本コーヒー飲料協会</p>	<p>会長理事 上島 昌佐郎</p>	<p>〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-9-2 PMO神田岩本町2階 電話 03(6260)9257</p>
<p>ビール酒造組合</p>	<p>会 長 代表理事 布施 孝之</p>	<p>〒104-0061 東京都中央区銀座1-16-7 銀座大栄ビル10階 電話 03(3561)8386</p>

## 別紙2

### 2017年度アダプト・プログラム助成制度 助成団体

【10万コース】

	団体名	アダプト・プログラム制度名	登録自治体／部署
1	特定非営利活動法人 アパリ 木津川ダルク	木津川市アダプト・プログラム	木津川市まち美化推進課
2	石越町長根区	みやぎスマイルロード・プログラム	宮城県土木部道路課
3	エコる隊	浜松市道路・河川里親制度	浜松市土木部道路保全課・河川課
4	愛媛県立伊予農業高等学校 伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム	愛ビーチ制度「愛媛ふれあいの海辺」	愛媛県土木部河川港湾局港湾海岸課
5	大洞柏台自治会連絡会	岐阜版アダプト・プログラム <sup>®</sup> ギふまち育て隊 <sup>®</sup>	岐阜市市民参画部市民活動交流センター
6	落合ライフクラブ	広島県アダプト制度	広島県道路河川管理課
7	快適な住環境を広める会	アドプト・ロード・プログラム	大阪府都市整備部道路環境課
8	川に学ぼう会 in 浦上川（大橋地区）	県民参加の地域づくり事業	長崎県土木部河川課
9	特定非営利活動法人 木曾川・水の始発駅	河川愛護活動支援事業	長野県建設部河川課
10	北柏町会	柏市公園里親制度（アダプト・プログラム）	柏市都市部公園管理課
11	Good News	くるめクリーンパートナー	久留米市環境部環境政策課
12	くわながわフラワーロードの会	信州ふるさと道ふれあい事業（アダプトシステム）	長野県建設部道路管理課
13	差出南地区河川愛護会	河川愛護活動支援事業	長野県建設部河川課
14	下工北町内会	山形県マイロードサポート事業	山形県県土整備部道路保全課
15	ジュニアジョブサポートさくら	ぴかぴか北本おまかせプログラム	北本市市民経済部くらし安全課
16	市立武蔵野会館運営協議会文化シニアクラブ班	昭島市公共施設アダプト事業	昭島市市民部生活コミュニティ課
17	新条地区市民協議会	岸和田ファミリーロードプログラム	岸和田市建設部建設管理課
18	太子町八木沢川河川愛護会	河川愛護活動支援事業	長野県建設部河川課
19	高田川と共生する会	千葉県河川海岸アダプト・プログラム	千葉県県土整備部河川環境課
20	NPO法人 多摩川エコミュージアム	川崎市河川愛護ボランティア制度	川崎市道路河川整備部河川課
21	とみつか未来塾	浜松市道路・河川里親制度	浜松市土木部道路保全課・河川課
22	中郷水利協議会	リバーフレンドシップ制度	静岡県交通基盤部河川企画課
23	奈良・人と自然の会	奈良市アダプトプログラム推進事業（さわやかクリーン奈良）	奈良市市民活動部協働推進課
24	八戸市立小中野小学校	はちのへクリーンパートナー制度	八戸市環境部環境政策課
25	花と緑のまち梶原山を創造する会	鎌倉市アダプト・プログラム	鎌倉市環境部環境保全課
26	パプリー2ブロック	東浦町公共施設アダプト・プログラム	東浦町企画政策部協働推進課
27	富士市天間地区まちづくり協議会	リバーフレンドシップ制度	静岡県交通基盤部河川企画課
28	古川を美しくする会	山城うるおい水辺パートナーシップ事業	京都府山城北土木事務所企画調整室
29	ふるさと岩波の水路を守る会	リバーフレンドシップ制度	静岡県交通基盤部河川企画課
30	柳町御倉町町会	ふくしまきれいに隊	福島市環境部環境課
31	One for all	アドプト・ロード・プログラム	大阪府都市整備部道路環境課

## 【5万コース】

	団体名	アダプト・プログラム制度名	登録自治体／部署
1	青谷川 多賀堤を美しくする会	山城うるおい水辺パートナーシップ事業	京都府山城北土木事務所企画調整室
2	アダプト上一会	たかさきアダプトまち美化活動事業	高崎市建設部管理課
3	荒砥の散歩道	山形県マイロードサポート事業	山形県県土整備部道路保全課
4	一色会	磐田市まち美化パートナー制度	磐田市建設部道路河川課
5	貝生川ホテルの里実行委員会	山形県マイロードサポート事業 山形県ふるさとの川愛護活動支援事業	山形県県土整備部道路保全課、河川課
6	環境美化をすすめる共生の会	富里市アダプト・プログラム	富里市市民経済環境部環境課
7	社会福祉法人 清郷会 協和厚生園	富里市アダプト・プログラム	富里市市民経済環境部環境課
8	杭出津3区・4区親和会	県民参加の地域づくり事業	長崎県土木部河川課
9	久地田筒分水サポートクラブ	川崎市河川愛護ボランティア制度	川崎市道路河川整備部河川課
10	クリーンきら星	木津川市アダプト・プログラム	木津川市まち美化推進課
11	小板橋南町会環境美化活動（なかよし公園）	八千代市環境美化ボランティア制度	八千代市コミュニティ推進課、公園緑地課
12	交通の安全	東浦町公共施設アダプト・プログラム	東浦町企画政策部協働推進課
13	ごみゼロ岩沼	みやぎスマイルロード・プログラム	宮城県土木部道路課
14	シニアの「ちから」ネットワーク・中原	川崎市河川愛護ボランティア制度	川崎市道路河川整備部河川課
15	裾野ウォーキング健康会	裾野市きれいなまちづくり推進事業	裾野市生涯学習課市民協働室
16	すそのひがしクラブ	裾野市きれいなまちづくり推進事業	裾野市生涯学習課市民協働室
17	スマイルホースサポーター	みやぎスマイルロード・プログラム	宮城県土木部道路課
18	住み良い街にしよう会	東浦町公共施設アダプト・プログラム	東浦町企画政策部協働推進課
19	せいかドットコムさわやかウエスト	さわやかボランティア・ロード	京都府山城南土木事務所企画調整担当
20	出羽商工会女性部	山形県マイロードサポート事業	山形県県土整備部道路保全課
21	飛森谷戸の自然を守る会	川崎市河川愛護ボランティア制度	川崎市道路河川整備部河川課
22	二ヶ領用水ウォッチング・フォーラム	川崎市河川愛護ボランティア制度	川崎市道路河川整備部河川課
23	22世紀八幡ルネッサンス運動	山城うるおい水辺パートナーシップ事業	京都府山城北土木事務所企画調整室
24	パナソニック松愛会 東北支部	仙台まち美化サポーター	仙台市環境局廃棄物管理課
25	ひがしなりわがまちくらぶ	大阪アダプト・リバー・プログラム	大阪府都市整備部河川環境課
26	光台四丁目フォー・クリーン	精華町クリーンパートナー	精華町事業部建設課
27	枚方元町長松会ガーデニングクラブ	枚方市公園緑地等のアダプト・プログラム	枚方市土木部公園みどり推進室
28	広島県立加計高等学校	広島県アダプト制度	広島県道路河川管理課
29	藤ヶ丘フィールド・ホルダー	龍ヶ崎市公共施設里親制度	龍ヶ崎市市民生活部市民協働課
30	ふれあいセンター（富里市教育委員会）	富里市アダプト・プログラム	富里市市民経済環境部環境課
31	放課後等デイサービスひまわり	所沢市アダプト・プログラム	所沢市市民活動支援センター
32	南谷川櫻を守る会	山城うるおい水辺パートナーシップ事業	京都府山城北土木事務所企画調整室
33	宮前町会	柏市公園里親制度（アダプト・プログラム）	柏市都市部公園管理課
34	夜間瀬川河川愛護会 湯河原1組河川愛護会	河川愛護活動支援事業	長野県建設部河川課
35	6水会	川崎市河川愛護ボランティア制度	川崎市道路河川整備部河川課
36	脇町地区婦人会	アダプト・プログラム吉野川	徳島県県民環境部県民環境政策課
37	特定非営利活動法人いきいき亘理	みやぎスマイルロード・プログラム	宮城県土木部道路課

## 別紙 3

### 食環協のイベント出展等の状況について

#### ①環境イベントへの出展

##### ◎札幌市

環境広場さっぽろ

8月4日、5日、6日

アクセスサッポロ（札幌市白石区）

北海道地連 札幌市中央区など7区と協働

入場者数 33,028人

##### ◎金沢市

いしかわ環境フェア

8月19日、20日

石川県産業展示館4号館（金沢市）

北陸地連 石川県 野々市市と協働

入場者数 27,500人

##### ◎秋田市

あきたエコ&リサイクルフェスティバル

10月7日、8日

秋田駅前アゴラ広場等

秋田地連 秋田県秋田地方振興局他と協働

入場者数 24,000人

##### ◎富山市

とやま環境フェスティバル2017

10月21日、22日

富山テクノホール（富山市）

北陸地連

##### ◎沖縄県宜野湾市

3R推進全国大会

10月25日

沖縄コンベンションセンター

訪問者 松木瑠美

##### ◎京都市

京都環境フェスティバル

12月9日、10日

京都パルスプラザ

京都地連、京都府建設部と協働

入場者数 29,000人

②市町村等への訪問

◎北海道帯広市「クリーン・キャンパス・21」

訪問日 5月13日

訪問者 松木瑠美

◎静岡県伊豆市「修善寺大掃除」

訪問日 2月18日

訪問者 松木瑠美

③その他

◎自治体担当者とのワークショップ

開催日 11月10日

参加者 自治体アダプト担当者

飯倉清太（内閣官房地域活性化伝道師）

◎広島青少年活動コンテスト（広島市）

開催日 2月10日

出席者 松木瑠美

◎大阪府アダプト懇話会（大阪市）

開催日 2月21日

出席者 松木瑠美

◎環境教育実践に関する情報交換会

開催日 3月18日

出席者 東京都多摩地区等の環境教育関係者9名

日尾野専務理事 中邑事務局長 藤川企画委員

## 別紙 4

### 第18回環境美化教育優良校等表彰 表彰校一覧

#### 最優秀校 4校

文部科学大臣賞	広島県	福山市立春日小学校
農林水産大臣賞	福井県	若狭町立三方小学校
環境大臣賞	岩手県	久慈市立小袖小学校
協会会長賞	群馬県	高崎市立京ヶ島小学校

#### 優秀校 協会会長賞 6校

新潟県	長岡市立川崎小学校
石川県	七尾市立田鶴浜 <small>たつるはま</small> 小学校
徳島県	鳴門市第一中学校
長崎県	小値賀町立小値賀 <small>おぢか</small> 小学校
宮崎県	都農町立都農 <small>つの</small> 小学校
鹿児島県	龍郷町立龍北 <small>りゅうほく</small> 中学校

#### 優良校 協会会長賞 27校

北海道	帯広 <small>おびひろ</small> 聾学校	青森県	五所川原市立五所川原第三中学校
宮城県	石巻市立住吉中学校	秋田県	秋田県立能代支援学校
山形県	酒田市立亀ヶ崎小学校	福島県	南会津町立伊南 <small>いな</small> 小学校
茨城県	常陸太田市立里美小・中学校		
栃木県	高根沢町立中央小学校	東京都	大田区立馬込東中学校
神奈川県	南足柄市立南足柄中学校	富山県	高岡市立五位中学校
山梨県	山中湖村立東小学校	長野県	諏訪市立上諏訪中学校
静岡県	三島市立山田小学校	愛知県	新城市立鳳来中学校
三重県	四日市市立楠 <small>くす</small> 中学校	京都府	南丹市立八木中学校
大阪府	泉佐野市立第一小学校	兵庫県	神戸市立長坂中学校
奈良県	葛城市立當麻 <small>たいま</small> 小学校	岡山県	新見市立新砥 <small>あらと</small> 小学校
愛媛県	鬼北町立広見中学校	高知県	宿毛市立宿毛 <small>すくも</small> 中学校
福岡県	篠栗町立篠栗北 <small>ささぐりきた</small> 中学校	佐賀県	佐賀市立嘉瀬 <small>かせ</small> 小学校
熊本県	熊本市立河内中学校	大分県	大分市立こうぎき小学校



## 別紙5

### 2017年度 地方連絡会議 ブロック会議 結果報告

- 【共通議題】
- ①食環協 「地方連絡会議及び学校表彰事業・アダプト・プログラムの取り組み」
  - ②地方連絡会議 「地方連絡会議の取り組み」
  - ③全国清涼飲料工業会 「清涼飲料市場と全清飲の環境への取り組み」
  - ④ビール酒造組合 「ビール酒造組合の環境への取組み」
  - ⑤日本容器包装リサイクル協会「容器包装リサイクル制度について」
  - ⑥講演 各テーマ：アダプト・プログラム、環境美化実践教育支援等の活動

#### 1. 北海道東北（札幌会場）ブロック会議

- (1) 開催日 7月4日 火曜日
  - (2) 開催場所 TKPガーデンシティ札幌駅前
  - (3) 登壇者
    - ①地方連絡会議 宮城地方連絡会議 主宰幹事 石井 孝明氏
    - ②全国清涼飲料工業会 山口 隆氏 自販機部長兼広報部長
    - ③ビール酒造組合 野口 勝弘氏 審議役
    - ④日本容器包装リサイクル協会 業務執行理事・企画広報部長 堀田 肇 様
    - ⑤NPOサプライズ 代表理事 飯倉 清太 様
- テーマ 「アダプト・プログラムとまちづくり」

#### 2. 東海北陸近畿中四国（大阪会場）ブロック会議

- (1) 開催日 7月11日 火曜日
  - (2) 開催場所 TKP新大阪ビジネスセンター
  - (3) 登壇者
    - ①地方連絡会議 愛知地方連絡会議 副主宰幹事 木村 宏氏
    - ②全国清涼飲料工業会 瀧花 巧一氏 環境部長（食環協 企画委員）
    - ③ビール酒造組合 滝本 修司氏 専務理事（食環協 運営委員）
    - ④日本容器包装リサイクル協会 業務執行理事・企画広報部長 堀田 肇 様
    - ⑤NPO法人 中海再生プロジェクト 事務局長 上田 敏之様
- テーマ 「中海再生プロジェクトの取り組み」

#### 3. 中国四国九州沖縄（福岡会場）ブロック会議

- (1) 開催日 7月18日 火曜日
  - (2) 開催場所 TKP博多駅前シティセンター
  - (3) 登壇者
    - ①地方連絡会議 兵庫地方連絡会議 関根 理恵氏
    - ②全国清涼飲料工業会 瀧花 巧一氏 環境部長（食環協 企画委員）
    - ③ビール酒造組合 藤田 敦氏 審議役
    - ④日本容器包装リサイクル協会 業務執行理事・企画広報部長 堀田 肇 様
    - ⑤フリー編集記者 黒田 美架 様
- テーマ 「環境美化実践教育 最優秀校取材を通して思うこと」

#### 4. 関東甲信越（東京会場）ブロック会議

- (1) 開催日 7月20日 木曜日
  - (2) 開催場所 TKP東京駅前カンファレンスセンター
  - (3) 登壇者
    - ①地方連絡会議 愛知地方連絡会議 主宰幹事 尾関 和成氏
    - ②全国清涼飲料工業会 山口 隆氏 自販機部長兼広報部長
    - ③ビール酒造組合 齋藤 哲哉氏 審議役
    - ④日本容器包装リサイクル協会 業務執行理事・企画広報部長 堀田 肇 様
    - ⑤フリー編集記者 黒田 美架 様
- テーマ 「環境美化実践教育 最優秀校取材を通して思うこと」

# 貸借対照表

平成30年3月31日現在

公益社団法人食品容器環境美化協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I. 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	36,668	34,121	2,547
普通預金	35,758,425	38,128,883	△ 2,370,458
前払費用	801,941	873,311	△ 71,370
流動資産合計	36,597,034	39,036,315	△ 2,439,281
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	12,711,600	11,473,400	1,238,200
特別広報・調査実施準備引当資産	3,300,000	4,800,000	△ 1,500,000
特定資産合計	16,011,600	16,273,400	△ 261,800
(2) その他固定資産			
什器備品	5	1,028	△ 1,023
電話加入権	160,000	160,000	0
敷金・保証金	1,561,920	1,561,920	0
その他固定資産合計	1,721,925	1,722,948	△ 1,023
固定資産合計	17,733,525	17,996,348	△ 262,823
資産合計	54,330,559	57,032,663	△ 2,702,104
<b>II. 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	615,775	229,723	386,052
預り金	311,467	289,756	21,711
流動負債合計	927,242	519,479	407,763
2. 固定負債			
退職給付引当金	12,711,600	11,473,400	1,238,200
固定負債合計	12,711,600	11,473,400	1,238,200
負債合計	13,638,842	11,992,879	1,645,963
<b>III. 正味財産の部</b>			
1. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 3,300,000 )	( 4,800,000 )	( △ 1,500,000 )
正味財産合計	40,691,717	45,039,784	△ 4,348,067
負債及び正味財産合計	54,330,559	57,032,663	△ 2,702,104

# 正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
受取雑益	77,349,000	77,362,000	△ 13,000
雑収	572	588	△ 16
経常収益計	77,349,572	77,362,588	△ 13,016
(2) 経常費用			
役員報酬	69,057,953	79,582,137	△ 10,524,184
役員給料	7,200,000	7,200,000	0
臨時職給	14,014,730	13,069,704	945,026
退職給付	13,500	13,000	500
法定福利	827,800	871,125	△ 43,325
旅費	2,033,619	2,213,974	△ 180,355
減価償却	1,756,757	1,932,678	△ 175,921
通信費	818	818	0
運搬費	3,251,582	2,353,101	898,481
消耗品	1,203,310	4,490,624	△ 3,287,314
印刷製本	2,242,006	1,738,827	503,179
光熱水料	217,390	202,022	15,368
借入金	4,368,604	4,344,412	24,192
諸謝金	7,650,022	7,304,811	345,211
支払助成	2,560,189	2,613,874	△ 53,685
委託託	4,733,144	4,788,447	△ 55,303
雑費	15,717,627	25,152,148	△ 9,434,521
管 理 費	1,266,855	1,292,572	△ 25,717
役員報酬	12,639,685	13,343,657	△ 703,972
役員給料	4,800,000	4,800,000	0
臨時職給	2,951,305	3,794,430	△ 843,125
退職給付	410,400	290,375	120,025
法定福利	1,000,749	829,548	171,201
福厚生	225,019	270,069	△ 45,050
旅費	355,488	361,504	△ 6,016
減価償却	432,170	601,892	△ 169,722
通信費	204	204	0
運搬費	115,751	100,600	15,151
消耗品	54,809	60,318	△ 5,509
印刷製本	122,686	126,314	△ 3,628
光熱水料	54,348	50,505	3,843
借入金	1,092,152	1,086,104	6,048
諸謝金	222,800	159,340	63,460
雑費	801,804	812,454	△ 10,650
経常費用計	81,697,638	92,925,794	△ 11,228,156
当期経常増減額	△ 4,348,066	△ 15,563,206	11,215,140
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	1	0	1
経常外費用計	1	0	1
当期経常外増減額	△ 1	0	△ 1
他会計振替額			0
当期一般正味財産増減額	△ 4,348,067	△ 15,563,206	11,215,139
一般正味財産期首残高	45,039,784	60,602,990	△ 15,563,206
一般正味財産期末残高	40,691,717	45,039,784	△ 4,348,067
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	40,691,717	45,039,784	△ 4,348,067

# 財 産 目 録

平成30年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金		運転資金として	36,668
	普通預金	三菱東京UFJ銀行新橋支店 みずほ銀行芝支店	運転資金として 運転資金として	3,588,264 32,170,161
	前払費用	前払家賃他		801,941
流動資産合計				36,597,034
(固定資産)				
特定資産	退職給付引当資産	(普通預金) みずほ銀行芝支店	職員2名に対する退職金の支払いに備えた積立資産である。	7,250,811
		(定期預金) 三菱東京UFJ銀行新橋支店		5,460,789
	特別広報・調査実施準備引当資産	(普通預金) みずほ銀行芝支店	ホームページの大幅改定及び特別の調査事業に備えた、特定費用準備資金である。	3,300,000
	特定資産合計			16,011,600
その他の固定資産	什器備品	金庫他	公益事業と管理運営のための共用財産であり、80%を公益目的事業に20%を管理運営の業に供している。	5
	電話加入権		公益事業と管理運営のための共用財産であり、80%を公益目的事業に20%を管理運営の業に供している。	160,000
	敷金・保証金	事務所保証金	公益事業と管理運営のための共用財産であり、80%を公益目的事業に20%を管理運営の業に供している。	1,561,920
	その他の固定資産合計			1,721,925
固定資産合計				17,733,525
資産合計				54,330,559
(流動負債)	未払金	事業未払金	公益目的事業の未払金である。	615,775
	預り金	源泉所得税他		311,467
流動負債合計				927,242
(固定負債)	退職給付引当金		職員2名に対する退職金の支払いに備えたものである。	12,711,600
固定負債合計				12,711,600
負債合計				13,638,842
正味財産				40,691,717

# 収 支 計 算 書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
<b>1.事業活動収入</b>				
会 費 収 入	76,726,000	77,349,000	623,000	
雑 収 入	1,000	572	△ 428	
事業活動収入計	76,727,000	77,349,572	622,572	
<b>2.事業活動支出</b>				
事業費支出	73,422,000	68,229,335	△ 5,192,665	
アダプト・プログラムの普及 推進費支出	14,400,000	12,533,135	△ 1,866,865	
散乱防止啓発費支出	22,400,000	21,844,381	△ 555,619	
環境美化実践教育支援	16,200,000	15,037,389	△ 1,162,611	
地域実態に応じた啓発活動	6,200,000	6,806,992	606,992	
広報活動の総合的強化費支出	4,100,000	3,344,488	△ 755,512	
広報活動の充実	3,900,000	3,117,679	△ 782,321	
散乱情報の収集・提供	200,000	226,809	26,809	
特別広報・調査費支出	1,500,000	1,500,000	0	
事業間接費支出	31,022,000	29,007,331	△ 2,014,669	
事業人件費支出	24,357,000	23,248,349	△ 1,108,651	
事業事務諸費支出	6,665,000	5,758,982	△ 906,018	
管理費支出	13,048,000	12,229,081	△ 818,919	
人件費支出	9,301,000	8,752,054	△ 548,946	
事務費支出	3,747,000	3,477,027	△ 269,973	
事業活動支出計	86,470,000	80,458,416	△ 6,011,584	
事業活動収支差額	△ 9,743,000	△ 3,108,844	6,634,156	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
<b>1.投資活動収入</b>				
特定資産取崩収入	1,600,000	1,500,000	△ 100,000	
退職給付引当資産取崩収入	100,000	0	△ 100,000	
特別広報・調査事業準備引当資産取崩収入	1,500,000	1,500,000	0	
投資活動収入計	1,600,000	1,500,000	△ 100,000	
<b>2.投資活動支出</b>				
特定資産取得支出	1,238,000	1,238,200	200	
退職給付引当資産取得支出	1,238,000	1,238,200	200	
投資活動支出計	1,238,000	1,238,200	200	
投資活動収支差額	362,000	261,800	△ 100,200	

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
Ⅲ 財 務 活 動 収 支 の 部				
1.財 務 活 動 収 入				
財 務 活 動 収 入 計	0	0	0	
2.財 務 活 動 支 出				
財 務 活 動 支 出 計	0	0	0	
財 務 活 動 収 支 差 額	0	0	0	
Ⅳ 予 備 費 支 出	0		0	
当 期 収 支 差 額	△ 9,381,000	△ 2,847,044	6,533,956	
前 期 繰 越 収 支 差 額	38,516,836	38,516,836	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額	29,135,836	35,669,792	6,533,956	

## 収支計算書に対する注記

## (注) 1. 資金の範囲

資金の範囲には現金預金・未収金・前払費用・未払金及び預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

## 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金	34,121	36,668
普 通 預 金	38,128,883	35,758,425
前 払 費 用	873,311	801,941
合 計	39,036,315	36,597,034
未 払 金	229,723	615,775
預 り 金	289,756	311,467
合 計	519,479	927,242
次 期 繰 越 収 支 差 額	38,516,836	35,669,792